

# 危険物新聞

第 6 4 4 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会  
編集 三 好 治 雄  
発行人  
大阪市西区新町1丁目5番7号  
四ツ橋ビル  
TEL 06(6531) 9 7 1 7・5 9 1 0  
定価 1部 60円

平成19年度 第3回受験準備講習  
合格への近道!

## ◇受験準備講習会は 甲種・乙種第4類・丙種について

平成19年10月7日(日)、大阪府立大学で行なわれる危険物取扱者試験に対する受験準備講習会は、下記のとおり甲種、乙種第4類及び丙種について、大阪市内、堺市内、枚方市内及び高槻市内の会場で開催します。

講習会では過去に出題された問題や傾向を詳細に分析し、経験豊かな講師陣により的確をしばった分かりやすい講習を行なっていますので、受講者は高い合格率を修めています。

申込は郵送(郵便払込)又はインターネット(銀行振込)で

### 1. 受講申込方法

- ① 郵送によりお申込される場合
  - a 受講申込書「合格への近道!」は、大阪府下の所轄各消防本部及び各消防署予防課にあります。受講申込書に必要事項をご記入の上、払込取扱票を切り離して、受講料及びテキスト送料の合計金額を郵便局窓口(窓口取扱時間午後4時まで)で払込んでください。(その際、手数料が別途必要となります。)
  - b 郵便局で払込んだ「郵便振替払込受付証明書(お客さま用):準備講習受講申込書添付用、下部に赤マークのついたもの」を受講申込書に貼り付けて、所定の申込用封筒(オレンジ色)で郵送してください。(市販の封筒を使用いただいても結構です。)
  - c 受講申込書が到着次第、受講券とテキストを送付いたします。

### 平成19年度第3回 危険物取扱者試験 受験準備講習会予定表

種別	講習日	時間	会場	最寄駅
甲種	9月20日(木)、9月26日(水)、9月28日(金)	9時30分~16時	大阪府商工会館	地下鉄本町駅17号出口よりすぐ
乙種第4類	1コース 9月18日(火)、9月19日(水)	9時30分~16時	大阪府商工会館	〃
	2コース 9月27日(木)、9月28日(金)	9時30分~16時	大阪府商工会館	〃
	3コース 9月19日(水)、9月20日(木)	10時~16時30分	堺市民会館	南海高野線 堺東駅より8分
	4コース 9月26日(水)、9月27日(木)	10時~16時30分	メセナひらかた	京阪 枚方市駅より4分
	5コース 9月13日(水)、9月14日(金)	10時~16時30分	高槻市消防本部	JR・阪急 高槻駅より10分
	土日Aコース 9月15日(土)、9月16日(日)	9時30分~16時30分	p i a N P O	地下鉄大阪港駅4号出口より4分
土日Bコース 9月29日(土)、9月30日(日)	9時30分~16時30分	p i a N P O	〃	
丙種	10月1日(月)	9時15分~16時30分	四ツ橋ビル	地下鉄四ツ橋駅2号出口よりすぐ

**AMATO ROTEC**  
固定式泡消火設備の「一体点検時」に  
※具体的な点検方法は所轄消防との確認が必要です。

## もしも…! 泡薬剤を放出せずに 泡消火設備の点検ができれば…

泡消火設備 放射点検用の試験液体

### エコブルー

エコブルーを使用することにより泡消火薬剤の混合比率を測定することができ、泡消火設備の健全性を確認することができます。

環境にやさしく  
廃棄物ゼロ

短時間での  
点検実施

点検の実施が  
非常に簡単

泡消火設備の  
性能を  
適正に確認

**ヤマトプロテック株式会社** www.yamatoprotec.co.jp  
本 社 東京都港区白金台5-17-2 TEL.(03)3446-7151(代)

- ② インターネットでお申込みされる場合  
当協会ホームページを利用してください。

当協会ホームページ → 危険物取扱者試験受験準備講習会 → インターネットでのお申し込みはこちら → 必要事項を入力して送信 → 申込内容・銀行口座をメールで返信 → 入金確認後、受講券とテキストを送付

◇当協会ホームページのURL

(<http://www1.odn.ne.jp/~aav74830>)

◇検索して入る方法

大阪府危険物安全協会 で検索

- ③ 持込でお申込みされる場合
- a ご希望の講習日(各コースの初日)の前日まで当協会事務所(大阪市西区新町1-5-7、四ツ橋ビル8F)で受付いたします。(ただし、土・日及び祝日は業務を行っておりません。)
- b 申込手続は代理の方でも結構です。

## 2. 申込期間

- ① 常時受付しています。  
ただし、ご希望の講習日(各コースの初日)の1週間前までに当協会必着でお願いします。
- ② 各講習会場とも定員制のため、満席の場合は受付できませんのでお早めにお申込みください。

## 3. その他

- ① 受験準備講習会は、甲種は3日間、乙種第4類は2日間、丙種は1日間で実施します。
- ② 本講習会の録画、録音は禁止いたします。
- ③ 申込書に記載されました個人情報、受験準備講習会の目的に限り利用させていただきます。

## 4. 受講料及びテキスト送料(消費税を含んでいます)

### ① 受講料

種 別	会 員	会 員 外	
甲 種	16,800円	18,900円	
乙 種 第4類	1～6コース	12,600円	14,700円
	土日コース	13,650円	15,750円
丙 種	6,300円	7,350円	

- 注1. 財団法人大阪府危険物安全協会加盟協会会員(会員事業所の社員を含む)は会員価格となります。
2. 大学、高校及び各種専門学校の学生については学生割引として受講料は会員価格にいたします。  
・学生証のコピーを受講申込書に添付して送付してください。  
・持込受付される場合は、申込時に学生証(コピー可)を提示してください。
3. 準備講習の受講が2回目(同一年度内に限ります)の方に対しては、受講料についてご相談に応じます。  
詳細につきましては、06-6531-9717までお問合せください。
4. 申込終了後、理由の如何を問わず返金はいたしません。

- ② テキスト送料  
送料は500円です。

※複数の場合(一括して1ヶ所にお送りする場合)

甲種及び乙種第4類	2～5人分	600円
丙 種	6～10人分	800円
	2～6人分	500円

## 今後の危険物取扱者試験受験準備講習会の予定

### 第4回

種 別	講習日(平成19年)	会 場	
甲 種	11月16日(金)、11月20日(火)、11月26日(月)	p i a N P O	
乙種第4類	1コース	11月20日(火)、11月21日(水)	大阪府商工会館
	2コース	11月29日(水)、11月30日(木)	大阪府商工会館
	3コース	11月15日(水)、11月16日(木)	堺市民会館
	4コース	11月27日(火)、11月28日(水)	泉佐野市消防本部
	5コース	11月13日(火)、11月14日(水)	ノバティながの南館
	6コース	11月28日(水)、11月29日(木)	茨木市福祉文化会館
土日Aコース	11月24日(土)、11月25日(日)	p i a N P O	
土日Bコース	12月1日(土)、12月2日(日)	p i a N P O	

### 第5回

種 別	講習日(平成20年)	会 場	
甲 種	1月17日(水)、1月21日(月)、1月23日(火)	大阪府商工会館	
乙種第4類	1コース	1月24日(水)、1月25日(木)	大阪府商工会館
	2コース	1月29日(火)、1月30日(水)	大阪府商工会館
	3コース	1月17日(水)、1月18日(木)	堺市民会館
	4コース	1月22日(火)、1月23日(水)	茨木市福祉文化会館
	土日Aコース	1月26日(土)、1月27日(日)	p i a N P O
	土日Bコース	2月2日(土)、2月3日(日)	p i a N P O
丙 種	2月4日(月)	四ツ橋ビル	

## 危険物取扱者試験(大阪)の予定

第3回	試験日及び種別	平成19年10月7日(日) ・乙種第4類(午前・午後) ・甲種、第4類以外の乙種、丙種(午後)
	会 場	大阪府立大学(堺市)
	願書受付期間	平成19年8月28日(火)～9月11日(火) 必着(郵送又は持込)
第4回	願書受付場所	(財)消防試験研究センター大阪府支部 大阪市中央区谷町2-9-3 ギャラリー大手前ビル2F TEL 06-6941-8430
	試験日及び種別	平成19年12月9日(日) ・乙種第4類(午前・午後) ・甲種、第4類以外の乙種、丙種(午後)
	会 場	大阪府立大学
第5回	願書受付期間	平成19年10月25日(水)～11月8日(水) 必着(郵送又は持込)
	願書受付場所	(財)消防試験研究センター大阪府支部
	試験日及び種別	平成20年2月10日(日) ・乙種第4類(午前・午後) ・甲種、第4類以外の乙種、丙種(午後)
第5回	会 場	大阪府立大学
	願書受付期間	平成20年1月7日(月)～1月17日(水) 必着(郵送又は持込)
	願書受付場所	(財)消防試験研究センター大阪府支部

危険物に係る事故の概要

(平成18年中 その1)

消防庁 危険物保安室

消防庁危険物保安室では、平成19年 5 月30日付消防危第114号で【「平成18年中の危険物に係る事故の概要」について】を関係機関に通知しました。

平成18年中の危険物に係る事故の発生状況として、全体の事故件数は758件(前年739件)となっています。このうち危険物施設における火災・漏えい事故件数は、火災事故が223件(同188件)、漏えい事故が375件(同392件)で合計598件(同580件)となっており、前年より18件増加し、統計を取り始めて以来過去最高となっています。この発生件数は平成6年中の発生件数(287件)の2倍以上の件数となっており、憂慮される状況となっております。

また、事故原因を見ますと火災事故では「管理不十分」が26.0%、漏えい原因では「腐食等劣化」が32.5%と発生原因の第1位となっております。

以下にその要旨を掲載します。

1 概 況

平成18年中(平成18年1月1日~平成18年12月31日)に発生した危険物施設における火災・漏えい事故件数は、火災事故が223件(前年188件)、漏えい事故が375件(同392件)で合計598件(同580件)となっており、漏えい件数は減少に転じたものの、火災件数は増加し、事故全体では前年より18件の増加となり、統計を取り始めて以来過去最高となっている。また、その他の事故(火災、漏えいを伴わない危険物施設の破損等)についても128件(同118件)と増加している。

一方、無許可施設、危険物運搬中等の危険物施設以外での事故は32件(同41件)となっており、その内訳は火災事故が7件(同17件)、漏えい事故は21件(同24件)、その他の事故が4件(同0件)となっている。

これらの事故による被害は、火災によるものが死者10人(同1人)、負傷者85人(同43人)、損害額28億7,007.5万円(同25億2,329万円)、漏えい事故によるものが負傷者25人(同23人)、損害額4億7,378万円(同3億6,898万円)となっている。

(第1表、第2表、第1図、第2図参照)

第1表 平成18年中に発生した危険物に係る事故の概要

区分	事故の態様 発生件数等	危険物に 係る事故 発生件数	火 災			漏 え い 事 故			その 他 発生件数		
			発生件数	被 害		発生件数	被 害				
				死 者 数	負 傷 者 数		損 害 額 (万円)	死 者 数		負 傷 者 数	損 害 額 (万円)
危 険 物 施 設		726	223	10	85	283,286.0	375	0	25	46,878.0	128
危 険 物 施 設 以 外	無 許 可 施 設	14	4	0	0	3,117.5	9	0	0	23.5	1
	危 険 物 運 搬 中	18	3	0	0	604.5	12	0	0	476.5	3
	仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
	小 計	32	7	0	0	3,721.5	21	0	0	500.0	4
合 計		758	230	10	85	287,007.5	396	0	25	47,378.0	132

漏液位置検知システム

トレーステック

ビルや工場からの油、プロセス流体やユーティリティ液体等、様々な液体の漏洩箇所を少量のうちに、敏速かつ正確にピンポイントで検出することが可能です。



ピンポイントで漏液位置を検出

漏液位置精度0.1%

様々な液体を検知

TT1000水、TT3000導電性液体、TT5000燃料油、TT5001有機溶剤

柔軟なシステム

1つの検出器で様々な液体の漏洩を検知することができます。

大規模システム、ローコストの実現

センサ回路は1mから最大1500mまで、更にインターフェイスモジュールを組合せることで大規模システムを構築することができます。

株式会社 工 技 研 究 所

http://www.kohgiken.co.jp

営業本部 03(3549)1579  
営業本部横浜分室 045(934)3798  
札幌支店 011(785)1361

仙台支店 022(236)6451  
関東支店 03(3549)1567  
名古屋支店 052(692)3271

長野駐在所 026(241)8900  
金沢駐在所 076(238)4701  
大阪支店 072(224)8421

本 社 〒104-0061 東京都中央区銀座7-17-14 松岡銀ビル6階 TEL 03(3549)1237  
大 阪 支 店 〒590-0902 大阪府堺市松屋大和川通2-114-5 工技研ビル TEL 072(224)8421

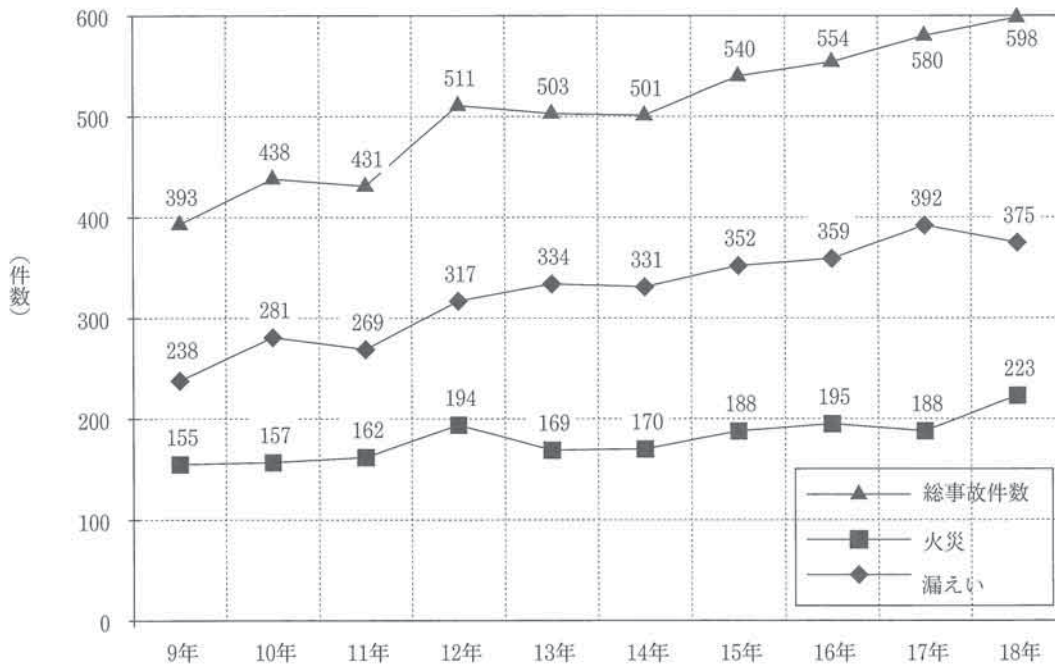
グループ会社  
工技研長野 026(241)8900  
(有)工技研北陸 076(238)4701  
(株)大館工技研究所 06(6354)6681  
(有)工技研松江 0852(24)3622

第2表 危険物に係る事故の発生件数等の推移

年	事故の態様 発生件数等 危険物に係る 事故発生 件数	火 災			漏 え い 事 故			その他 発生件数		
		発生件数	死者数	負傷者数	損害額 (万円)	発生件数	死者数		負傷者数	損害額 (万円)
平成9年	558	181	3	57	530,298.0	266	0	30	20,312	111
平成10年	589	181	5	68	336,679.0	305	2	31	42,858	103
平成11年	583	188	4	48	548,891.0	298	1	20	55,323	97
平成12年	672	210	6	60	274,431.0	348	3	42	52,982	114
平成13年	671	193	7	55	123,230.0	367	2	47	25,454	111
平成14年	671	191	4	78	160,841.0	366	4	25	33,160	114
平成15年	712	212	28	66	185,012.0	391	0	37	24,229	109
平成16年	725	213	5	59	515,953.0	394	0	39	45,159	118
平成17年	739	205	1	43	252,329.0	416	0	23	36,898	118
平成18年	758	230	10	85	287,007.5	396	0	25	47,378	132

(注) 1 危険物施設、無許可施設、危険物運搬中及び仮貯蔵・仮取扱い中の火災及び漏えい事故について掲載した。  
 2 平成12年中の漏えい事故の損害額には、鳥取県西部地震により漏えいがあった施設における損害額を含む。

第1図 危険物施設における火災・漏えい事故件数の推移（最近の10年間）



(注) 平成12年鳥取県西部地震、平成15年宮城県北部を震源とする地震及び北海道十勝沖地震、平成16年新潟県中越地震による事故件数を除く。

**HATSUTA**  
ECOSS-DRY & WET

**ハツタのエコサイクルシステム**

ハツタの「粉末消火薬剤エコサイクルシステム」は、回収した薬剤の異物・変質物を確認・除去し、ハツタ独自のシリコーン処理、水分の除去を行って均質化し、原料化するものです。その後、蛍光X線分析装置による厳しい検査に合格し、現行製品と同等の性能・品質を有するものだけが消火薬剤としてリサイクルされます。消火薬剤をリサイクル使用することは「限りある資源の有効利用」と「地球環境汚染防止」に貢献でき、環境問題に取り組むハツタとしても今後さらに力を注いでまいります。

回収

販売

回収

出荷

HATSUTA  
エコサイクルシステム

粉末消火器

**ECOSS-DRY series**

環境を考えた消火器

**ECOBASE**

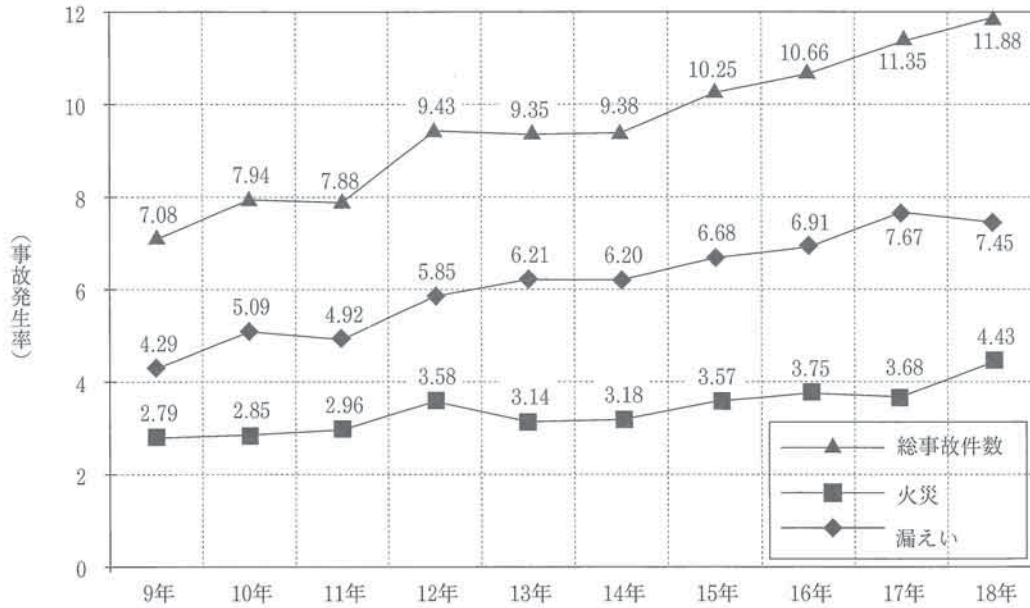
環境を守る消火器設置台

**ECOBOX**

環境と共存するボックス

**株式会社 初田製作所**  
http://www.hatsuta.co.jp

第 2 図 危険物施設 1 万施設当たりの火災・漏えい事故発生率の推移 (最近の10年間)



(注) 平成12年鳥取県西部地震、平成15年宮城県北部を震源とする地震及び北海道十勝沖地震、平成16年新潟県中越地震による事故件数を除く。

第 3 表 危険物施設における火災の発生件数と被害状況の推移 (最近の 5 年間)

年	発生件数 (ア)	被害			
		死者数	負傷者数	損害額 (イ) (万円)	1 件あたりの損害額 (イ)/(ア)(万円)
平成14年	170	3	56	133,682	786
平成15年	188	22	52	167,153	889
平成16年	195	3	55	493,066	2,529
平成17年	188	1	38	241,493	1,285
平成18年	223	10	85	283,286	1,270

# 都市との共存

## 危険物設備なら信頼の技研。

正確 安全 確実

**危険物タンクの漏洩検査**  
(平成16年4月1日法改正対応)

- 危険物設備の設計・施工
- 発電設備(非常用)燃料タンクの製造・販売
- 危険物タンクまわりの付属機器の販売

危険物設備の安全をトータルにリードする

# GIKEN

**株式会社 技研**  
〒530-0043 大阪市北区天満4丁目11番8号 工技研ビル TEL.06-6358-9467 (代表)

**ヤマト油設株式会社**  
〒592-8352 堺市築港浜寺西町7-2 TEL.072-269-2345

## 2 火災

### (1) 火災の発生及び被害の状況

平成18年中に発生した危険物に係る火災230件の内訳は、危険物施設におけるもの223件、無許可施設におけるもの4件、危険物運搬中のもの3件となっており、それぞれの状況は次のとおりである。

ア 平成18年中に危険物施設において発生した火災件数は223件（前年188件）であり、被害は、死者10人（同1人）、負傷者85人（同38人）、損害額28億3,286万円（同24億1,493万円）となっている。前年に比べ、火災の発生件数は35件、死者は9人、負傷者は47人、損害額は4億1,793万円それぞれ増加した。

また、火災1件当たりの平均損害額は1,270万円であった。（第3表参照）

これを製造所等の別にみると、火災の発生件数は、一般取扱所が139件、給油取扱所が40件、製造所が35件の順となっており、1件当たりの損害額では、一般取扱所が1,672万円で最も高く、次いで製造所が1,180万円、移動タンク貯蔵所が551万円となっている。

危険物施設1万施設当たりの火災発生件数は、危険物施設全体では4.43となっている。これを製造所等の別にみると製造所が70.30で最も高く、次いで一般取扱所19.07、給油取扱所5.19の順となっている。

危険物施設における火災危険性の推移について、ここ5年間では製造所、一般取扱所、給油取扱所の3施設が上位を占めている。（第5表参照）

イ 平成18年中の無許可施設に係る火災は4件（前年11件）発生しており、被害は負傷者0人（同2人）、損害額は3,117.5万円（同1億192万円）となっている。前年と比べ、発生件数は7件、負傷者は2人、損害額は7,074.5万円それぞれ減少した。

ウ 平成18年中の危険物運搬中の火災は3件（前年3件）発生しており、被害は負傷者0人（同1人）、損害額604万円（同533万円）となっている。

エ 仮貯蔵・仮取扱い中の火災は、近年発生していない。

（続く）

第5表 危険物施設における火災危険性の推移（最近の5年間）

製造所等の別	年	平成14年		平成15年		平成16年		平成17年		平成18年	
		件数	危険性	件数	危険性	件数	危険性	件数	危険性	件数	危険性
製造所		20	39.06	24	47.59	33	66.00	27	54.15	35	70.30
貯蔵所	屋内貯蔵所	1	0.18	2	0.37	6	1.11	2	0.37	0	0.00
	屋外タンク貯蔵所	1	0.13	2	0.26	1	0.13	4	0.54	3	0.41
	屋内タンク貯蔵所	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	地下タンク貯蔵所	0	0.00	0	0.00	1	0.08	0	0.00	1	0.09
	簡易タンク貯蔵所	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	移動タンク貯蔵所	4	0.50	11	1.38	10	1.26	7	0.89	5	0.65
	屋外貯蔵所	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
小計	6	0.16	15	0.41	18	0.50	13	0.37	9	0.26	
取扱所	給油取扱所	54	6.49	38	4.64	37	4.61	26	3.31	40	5.19
	第一種販売取扱所	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	第二種販売取扱所	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	移送取扱所	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	一般取扱所	90	11.91	111	14.85	107	14.40	122	16.55	139	19.07
小計	144	8.86	149	9.30	144	9.11	148	9.50	179	11.66	
合計	170	3.18	188	3.57	195	3.75	188	3.68	223	4.43	

（注）危険性：危険物施設1万施設当たりの火災の発生件数（危険物施設数は、各年における3月31日現在の完成検査済証交付施設数を用いた。）

### 地下貯蔵タンク等の漏れの点検はお済みですか？

～平成16年4月1日 法令改正施行～

地下に埋設されたタンクおよび配管の腐蝕を発見することは大変難しく、もし、発見が遅れば大量の漏えい事故につながります。地中に拡散した油等の、回収はとても困難であり、タンクを掘り起こし周囲の土をすべて入れ換えざるを得ない場合もでてきます。このようなことから「地下貯蔵タンクおよび地下埋設配管に係る定期点検（漏れの点検）」の基準が見直され施行されることになりました。



OIL & MAINTENANCE  
山田砥油株式会社

〒578-0912 東大阪市角田1丁目8番26号  
Tel. 0729-62-4777  
Fax. 0729-62-4778  
<http://www.ymd-o.co.jp>

各種燃料油販売／危険物施設工事／危険物施設法定点検／危険物貯蔵所等中和洗浄工事／廃油スラッジ等処分

## 地区協会ニュース

## 柏羽藤火災予防協会の活動

柏羽藤火災予防協会  
会長 田中 勲

本会は、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自主防災を基本に、会員相互が防火防災意識の高揚を図り、事業所の安全を確立すると共に安全なまちづくりをめざし、地域社会を構成する住民と企業と行政がそれぞれの役割を担い、三者が一体となって、柏原市・羽曳野市・藤井寺市の火災絶滅を期することを目的として、昭和39年8月に発足しました。

本会ではこれらの目的達成のために

- (1) 火災予防啓発の宣伝
- (2) 消防法令の周知徹底
- (3) 消防に関する講演、講習及び実施推奨、助成
- (4) 消防業務の視察、調査及び研究
- (5) 消防功労者の表彰
- (6) 消防本部の行う各種行事の援助及び協力

以上のように、火災予防の推進と消防行政への後援を目的とし、実施しているものであります。



熱心に救命講習を受ける受講者

昭和58年に自衛消防隊部会、昭和62年危険物部会、昭和63年防火管理者部会、平成11年には広報部会が発足し、協会事業の充実を図りました。

各部会の活動内容ですが、自衛消防隊部会と防火管理者部会合同によります、消防技術の練磨向上と隊員の士気向上を図ることを目的に、ポンプの部・屋内消火栓の部に分けまして、消防技術練成会を毎年開催しております。

危険物部会では、(財)大阪府危険物安全協会の協力事業として、大阪府危険物安全大会、危険物推進講演会等に積極的に参加しております。又、6月の危険物安全月間には会員事業所に胸章及び小吊旗を配布し、危険物の保安に対する意識の高揚、啓発に努めています。

広報部会では、会員向け機関紙『かしはふじ』を「防火防災思想の普及」を目的に年3回発行しています。

また、春・秋季全国一斉火災予防運動週間中は、婦人防火クラブ員とともに、管内主要駅前街頭キャンペーンを実施し、広報物品を配布し、広く市民へ火災予防宣伝に努めているところです。

四部会合同の事業としましては、毎年8月に各事業所の社員、新入社員を対象として、消防当局の協力を得まして、普通救命講習会、消火器、屋内消火栓等操作要領の習得、救助袋、緩降機等の操作手順の習得、煙中体験等を実施し、会員事業所より好評を頂いております。

また、四部会合同視察研修として、防災関連施設の視察研修を実施し、研修後の懇親会では会員相互の親睦が図られ、多くの参加者で賑わっております。

さらに四部会合同による「防災講演会」を毎年開催、昨年は「防災リスクマネジメントweb」編集長中川和之氏を講師に迎え、「いざ」に備え、情報の「受けて」から『つなぎ手』へと題して講演会を実施致しました。

今後も引き続き、消防当局の推進する火災予防行政に協力し「災害のない安全なまちづくり」を目指し、地域に貢献をしてみたいと思います。

## 地下タンク漏れ常時監視装置

(財)全国危険物安全協会  
認定番号12・13号



## 地下タンク点検の事ならお任せ下さい!

安価お見積りをご提示させていただきます。

危険物設備の新設・改造のご相談を受け賜ります。

## 業務内容

地下タンク漏洩点検、地下タンク埋設工事、地下タンク内清掃、ガソリン計量機の検定・整備・販売、給油機・メーター・ノズル機器等の販売、危険物施設の油配管設備工事、危険物の保安点検・各種の巡回清掃、危険物の各種消防手続、給油所の機器販売、地下タンク計測機器販売

点検業者用の液相部機器販売 日本スタンドサービス株式会社  
http://www.nssk.co.jp/ 〒578-0911 本社/大阪府東大阪市中新開2-11-17  
TEL: 0729-68-2211 FAX: 0729-68-3900

平成19年度 保安講習

保安講習の制度について

この講習は、消防法第13条の23に定められた、いわゆる法定講習です。

危険物製造所等(危険物を製造、貯蔵若しくは取扱っている施設)で危険物の取扱いに従事している危険物取扱者(危険物保安監督者も含む)は、定められた期間内に受講しなければなりません。

定められた受講期限は、原則として危険物の取扱いに従事した日から、1年以内(ただし、免状を取得した日、または前回保安講習を受講した日から3年以内)となっています。(規則第58条の14)

また、受講義務者が、受講期限内に受講しないときは、消防法違反となり、免状の返納を命じられることがあります。

平成19年度の受講申請について

平成19年度の保安講習開催案内(受講申請書・申請専用封筒(黄色)・専用郵便払込取扱票)は府下各消防本部及び消防署予防課で配布しています。

受講手数料(4,700円)は郵便払込で、また、申請は原則として郵送受付で行なっております。

郵送期間は受講希望日の日程に合わせて2期~4期に分けて行なっておりますので下記の予定表を参照の上、期間内に送付してください。

- ・3期(11、12月) 10月16日(火)~10月19日(金)
  - ・4期(平成20年2月) 1月25日(金)~1月30日(水)
- ※ 最終日消印有効

[2期:9月~10月の講習会はすでに受付期間(8月27日まで)が過ぎておりますが、空席のある会場は受付いたします。空席のある講習会場については、原則として各講習日の1週間前まで申請受付を行っています。TEL06-6538-1935でお問合せの上、手続きをお願いします。]

平成19年度 大阪府危険物取扱者 保安講習会予定表(2期~4期)

◇受付期間

郵送受付	2期	8月22日(水)~8月27日(月)	消印分	持込受付	2期	8月23日(木)~8月24日(金)	
	3期	10月16日(火)~10月19日(金)	消印分		3期	10月17日(水)~10月18日(木)	
	4期	1月25日(金)~1月30日(水)	消印分		4期	1月28日(月)~1月29日(火)	

◇一般の部

期別	回	実施日	曜日	講習会場	開始時間	
2期	19	9月5日	水	豊中市消防本部	13:30	
	20	9月6日	木	豊中市消防本部	13:30	
	21	9月7日	金	松原市消防本部	13:30	
	22	9月11日	火	茨木市福祉文化会館	13:30	
	23	9月12日	水	茨木市福祉文化会館	13:30	
	28	9月25日	火	大阪府商工会館	13:30	
	29	9月27日	木	和泉市立人権文化センター	13:30	
	33	10月4日	木	*堺市民会館	13:30	
	35	10月9日	火	大阪府商工会館	13:30	
	36	10月10日	水	守口市市民会館	13:30	
	43	10月19日	金	八尾市消防本部	13:30	
	44	10月29日	月	大阪府商工会館	13:30	
	3期	46	11月5日	月	メセナひらかた	13:30
		47	11月7日	水	メセナひらかた	13:30
48		11月12日	月	大阪府商工会館	13:30	
49		11月16日	金	富田林市消防本部	13:30	
50		11月19日	月	柏羽藤消防本部	13:30	
51		11月22日	木	大東市消防本部	13:30	
52		11月26日	月	高槻市消防本部	13:30	
53		11月27日	火	高槻市消防本部	13:30	
54		12月4日	火	吹田メイシアター	13:30	
55		12月7日	金	大阪府商工会館	13:30	

期別	回	実施日	曜日	講習会場	開始時間
4期	56	2月5日	火	大阪府商工会館	13:30
	57	2月6日	水	東大阪市民会館	13:30
	58	2月8日	金	東大阪市民会館	13:30
	59	2月13日	水	茨木市福祉文化会館	13:30
	60	2月14日	木	*堺市民会館	13:30
	61	2月18日	月	大阪府商工会館	13:30

◇コンビナートの部

期別	回	実施日	曜日	講習会場	開始時間
2期	24	9月13日	木	*堺市民会館	13:30
	25	9月14日	金	*堺市民会館	13:30
	27	9月21日	金	*堺市民会館	13:30
	30	9月28日	金	*堺市民会館	13:30
	32	10月3日	水	住友金属工業(株)	13:00
	37	10月11日	木	*堺市民会館	13:30
	38	10月12日	金	*堺市民会館	13:30
	39	10月16日	火	*堺市民会館	13:30
	41	10月17日	水	住友金属工業(株)	13:00
	45	10月30日	火	*堺市民会館	13:30

◇タンクローリーの部

期別	回	実施日	曜日	講習会場	開始時間
2期	26	9月15日	土	大阪府トラック総合会館	9:30
	31	9月29日	土	大阪府トラック総合会館	14:00
	34	10月4日	木	*堺市民会館	17:30
	40	10月16日	火	*堺市民会館	17:30

注 1. 各会場とも駐車場は使用できません。ただし、会場欄中\*印は有料駐車場があります。  
2. 講習時間は3時間です。